



製造温度を50°C下げても、
 スーパーなしなやかさ。
 クールで、タフなアスファルト誕生。

アスファルト舗装材は高温でつくる必要があります。しかし、環境への影響を考えれば、できるだけ低温でつくりたい。そこでニチレキは「シナヤカファルト」のしなやかさはそのままに、舗装材を低温でつくる革新に挑戦。その結果、従来の180°Cより50°Cも低い130°Cで舗装材を製造することに成功し、燃料消費で発生するCO₂排出量約22%^{※1}減を実現しました。地球にやさしく進化した新製品「スーパーシナヤカファルト」は、他のアスファルト舗装より約2倍^{※2}長持ちさせ、補修工事の回数を約1/2に減らすことも可能。お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまのCO₂排出量削減ニーズに応え、持続可能な道づくりに貢献します。より長持ちする舗装材を、CO₂排出を抑えながらつくる。補修の回数も減らして、工事の際に発生するCO₂も削減する。それが、新たな価値を「プラス」する、私たちの「サステナビリティ」。つまり、ニチレキの『足すテナビリティ』なのです。



動画で見る！
 スーパーシナヤカファルト



※1「シナヤカファルト」と比較 ※2 改質アスファルトII型（弊社製品ポリファルトSS）と比較

足すテナビリティ

ニチレキは、新たな価値を「プラス」するサステナビリティへ。

